

登録コード	E8245200	開講年度	2026				
授業科目	倫理学演習					担当教員	松島 恒熙
英文授業名	Seminar in Ethics					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生	2年生以上
講義室	教育M301講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				邦語文献の大意を把握することができる。 把握した大意をもとに、他者と議論することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				自分の理解や意見について、教育現場における対話型授業を意識しながら他者に分かりやすく発表することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この授業では、哲学・倫理学や教育学に関する邦語文献を読解し、論点を整理しながら哲学的に議論する。最初に指定された範囲を読解し、論点を整理する。さらに、読解した内容について哲学的に議論する。進め方としては、各回配布される授業プリントに自身の考える論点を記入し、その内容に沿って受講者全員で哲学的に議論する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、「哲学史研究」と「哲学すること」について 第2回：受講生の関心分野および研究テーマの報告 第3回：文献読解と議論（アーレント）「労働」 第4回：文献読解と議論（アーレント）「仕事」 第5回：文献読解と議論（アーレント）「活動」 第6回：文献読解と議論（アーレント）「公共性」 第7回：文献読解と議論（ビースタ）「教育の課題」 第8回：文献読解と議論（ビースタ）「教育と学習」 第9回：文献読解と議論（ビースタ）「教育と解放」 第10回：文献読解と議論（ビースタ）「教育と困難」 第11回：文献読解と議論（グレイ）「子供と遊び」 第12回：文献読解と議論（グレイ）「学校と子供」 第13回：文献読解と議論（グレイ）「遊びの役割」 第14回：授業のまとめ（授業アンケート） 教育実習等での欠席者に対しては、適宜課題等での補講を実施する。						
(6)成績評価の方法	達成目標 について議論への積極的参加（30％）で評価し、達成目標 について研究内容（70％）で評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	上記の、議論への積極的参加、研究内容について 問題の設定が適切である。 問題の背景を適切に理解し説明できる。 その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。 それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できている。 その上で自分の見解を創造的に提示できている。 5項目すべて優れていれば「卓越している」。 5項目を満たしていれば「かなり上にある」。 4項目まで満たしていれば「やや上にある」。 3項目まで到達していれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	・次回分の文献範囲は、読んで予習をしておくこと。 ・授業で扱われたテーマに関して、学習仲間と自発的な議論を行い、理解を深めておく。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	・扱われる思想家や文献を知らなくても、ゆっくり解説するので問題ありません。 ・一緒に哲学しましょう。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	授業の前後やオフィスアワーにて対応する。matsuko@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	参考資料を配布します。						
【参考文献】	適宜紹介します。						